正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

赤十字国際委員会 ニュースレター

ICRC

2月号 2022

【目次】

- ☞ 2022年の６つの挑戦とは？
- ☞ イエメンの収容施設爆撃で100人以上が死傷
- ☞ ウクライナ東部の「アクティブ・エイジング・クラブ」
- ☞ 人道組織の対応能力を上回る危機：エチオピア北部
- ☞ グアンタナモ収容所訪問20周年
- ☞ 地球上から化学兵器をなくそう！
- ☞ 気候変動対策を後押しする基金を開設！
- ☞ 豪陸軍大佐からICRC軍事顧問に転身：キャサリン・スチュワート



2022年の６つの挑戦とは？

ICRCペーター・マウラー総裁が世界経済フォーラムの「ダボス・アジェンダ2022」に寄せた書簡には、2022年に私たちが取り組むべき６つの課題がしたためられていました。窮乏

詳しくはこちら

紛争の現場から



イエメンの収容施設爆撃で100人以上が死傷

ICRCは、現地のパートナーであるイエメン赤新月社と連携して救援活動を実施。「和平交渉が進まないことで、こうした悲劇が繰り返される懸念が高まっている。国民や国の将来のためにも真摯に交渉を進めて欲しい」と、事件を受けてICRC中東事業局長が語りました。

事件後のSNS投稿



ウクライナ東部の戦線上に位置するトロキズベンカ村。情勢が不安定で、地理的にも孤立している村では今、シニアの住民たちが、学びからさらなる進化を遂げようとしています。高齢者の社会的地位を、援助の受け手としてではなく、社会のために積極的に動く存在とみてもらえるように。その活動内容とはいったい？

詳しくはこちら

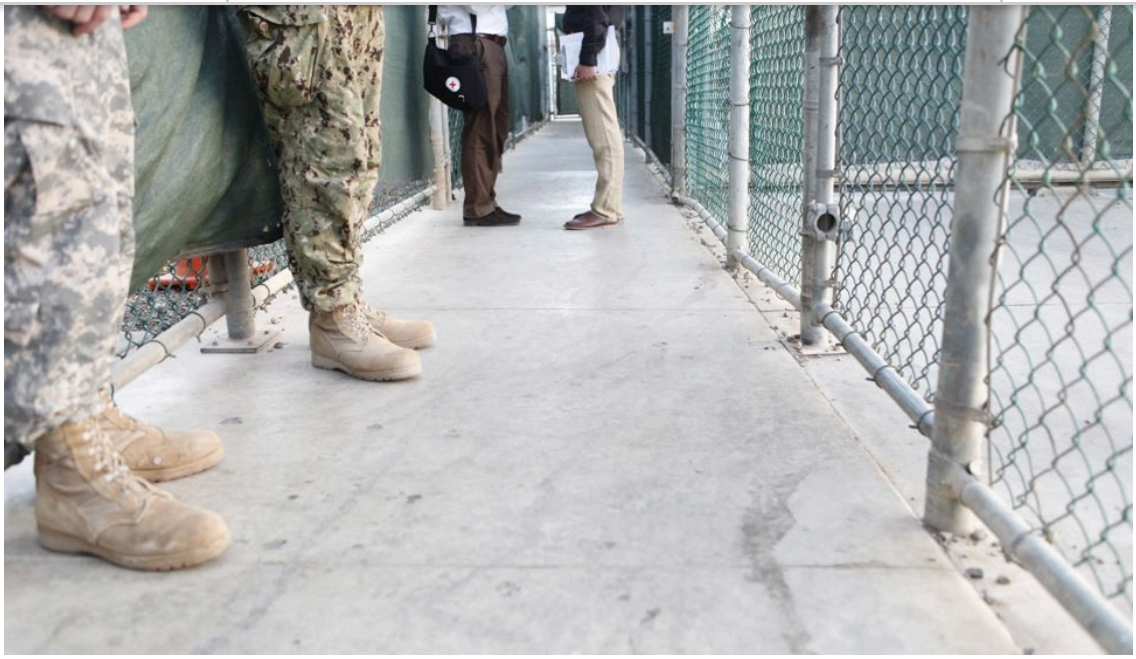


人道組織の対応能力を上回る危機：エチオピア北部

戦闘の激化に伴い、緊急の人道ニーズが膨らむ一方のエチオピア北部。しかし、前線の位置が刻々と移り変わるため、安全確保が難しく、救援活動が思うように進みません。必要不可欠な人道支援へのアクセスが困難になっています。そんな中、離ればなれになった家族の安否も確認できず、「多くの人が眠れない夜を過ごしている」と地元赤十字社のボランティアは語ります。

詳しくはこちら

日本人に知ってもらいたい！



グアンタナモ収容所訪問20周年

キューバのグアンタナモ湾にある米軍基地内の収容所に、20年以上拘束されたままの人たち。彼らの多くは10年以上前に、“釈放に値する”とみなされていた人たちです。グアンタナモ収容所で20年にわたり被拘束者と面会してきたICRCは、彼らが遅滞なく速やかに母国へ送還されるよう、当局に引き続き求めていきます。

詳しくはこちら



地球上から化学兵器をなくそう！

に用いる有毒化学物質の開発と使用の増加にも、ICRCは深刻な懸念を表明してきました。国際社会は化学兵器を全廃する方向へ徐々に向かっているものの、いまだに化学兵器の使用は世界各地で確認されています。

詳しくはこちら

世界のトレンド



気候変動対策を後押しする基金を開設！

ICRCは気候変動と環境に関する長期的な取り組みを支援するため、新しい基金を立ち上げました。資産構成は、ICRC自らが元手として投じた貸付金に加えて、公共、民間、慈善団体からの援助金。2022年に返済と補充のメカニズムを検討し、2023年の運用を目指します。将来的には民間投資の対象として開放することも念頭に、人道セクターがさらなる進化を遂げるため動き出します。

詳しくはこちら

駐日代表部だより



豪陸軍大佐からICRC軍事顧問に転身：キャサリン・スチュワート

現在日本を拠点に、アジア大洋州を管轄する軍事顧問のキャサリン・スチュワート。オーストラリア出身で、17歳で国防軍に入隊、33年間勤務した後、ICRCの軍事顧問となりました。軍隊では任務が変わるたびに『初の女性』と言われることが多かった、と語るスチュワート。ICRC軍事顧問として日本でどんな仕事をしているのか？などについても聞いています。

詳しくはこちら

その他のニュースはこちら

© 2022 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

INTUIT mailchimp